HP Cloud Service Automation

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 4.20、2014 年 12 月

このリリースノートでは、HP Cloud Service Automation (HP CSA) のこのリリースで行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

本バージョン

HP Cloud Service Automation (HP CSA) は、クラウドコンピューティング環境において、自動化されたサービスの提供および管理を目的にした HP 製品を統合するソフトウェアです。統合製品の詳細については、『HP Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。

HP Cloud Service Automation 環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

インストール要件

インストール要件については、『HP Software Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。HP Cloud Service Automation のインストール手順については、『HP Cloud Service Automation インストールガイド』を参照してください。

ドキュメント

HP CSA のドキュメントとホワイトペーパーにアクセスするには、次の URL でサインインまたは登録を行います。

https://softwaresupport.hp.com/

ページ上部の検索機能を使用すると、ドキュメント、ホワイトペーパーなどの情報ソースを検索できます。

カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/

サポート

HP ソフトウェアサポート Web サイトを参照してください。

https://softwaresupport.hp.com/

カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/

目次

本リリースでの修正 4
HP Cloud Service Automation (HP CSA) 4
ソリューション全般 4
Linuxでプロセス定義ツールを実行すると警告が発生する 4
コンテンツアーカイブツールでカタログをインポートすると、プロセスがハングする 4
HP CSAのパフォーマンスが時間とともに低下する 4
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール 4
インストールディレクトリに特殊文字が含まれる場合、HP CSAのインストールが完了しない 4
WindowsシステムでHP CSAのインストールがハングする 4
インストール後にHP CSAサービスを手動で開始すると、HP CSAアプリケーションが正しくデプロイされない 4
クラウドサービス管理コンソール 5
トポロジデザインを発行する際にエラーメッセージが表示される 5
クラウドサービス管理コンソールでデザインをインポートすると、[処理済み合計アーティファクト数] がレポートにリストされている他のすべての合計より大きくなる 5
シーケンスデザインによって参照するトポロジデザインを削除できない 5
インポートされたトポロジコンポーネントに、必須ではないとマークされた必須のコンポーネントプロパティがある 5
HP Operations Orchestrationコンテンツパックをインポートすると、内部サーバーエラーが発生する 5
既存の発行済みトポロジデザインがサービスデザインのインポート中に更新される 5
トポロジデザインのテスト実行機能がすべてのケースで動作しない 5
変更可能な非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインに対するプロビジョニングが失敗する 6
コンポーネント関係を使用するトポロジデザインをインポートすると、失敗するか、正しく機能しないデザインが作成される 6
同じIDを持つ複数のトポロジコンポーネント関係が作成される場合がある 7
発行済みのトポロジデザインに関連付けられているサービス提供のインポートで、エラーメッセージが表示される 7
トポロジコンポーネントに対して [名前を付けて保存] ボタンを使用しても、ソートコンポーネント関係が正しく複製されない 7
[カタログ] または [提供] 領域にトポロジデザインのアーカイブをインポートすると、プレビューエラーが発生する 7
コンポーネントのインポート中に、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーメッセージが表示される 7
HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインをカタログに発行しようとするとエラーメッセージが出て失敗する 8
デザインにコンポーネントを追加した後で高速デザインのトポロジのプロビジョニングが失敗する 8
トポロジデザインでコンポーネントプロパティの [**変更可能**] 属性が設定できないはずの場合に設定可能である 8
マーケットプレイスポータル 8
ショッピングカートに追加したアイテムの構成を変更する際に、間違った価格設定が表示される 8
クラスター環境 8
HA環境にインストールされているマーケットプレイスポータルにログインできない 8
HP CSAとの統合 9
HP Helion OpenStack® 9
トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®セキュリティグループを作成できない 9
[名前を付けて保存] ボタンがHP Helion OpenStack®コンポーネントに対して動作しない 9
HP Helion OpenStack®トポロジベースのサブスクリプションが、ユーザーへのエラーメッセージなしで失敗する 9
パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] が使用できない 9
HP Helion OpenStack®ベースのトポロジデザインに正常にサブスクライブできない 9
HP Operations Orchestration (HP OO) 9
トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない 9
HP Operations Orchestration Centralで、非公開のコンポーネントプロパティがクリアテキストで表示される 10
HP Helion OpenStack®でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに反映されない 10
インポートされたHP OOフローのパラメーターマッピングで、パブリックアクションの入力プロパティが有効にならない 10
HP Operations Orchestration Studioで、[結果] フィールドに関するエラーが報告される 10
HP Operations Orchestration Centralでプロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示される 10
VMware vCenter 10
vCenterサーバーのトポロジコンポーネントのprivateKeyプロパティの値がクリアテキストで表示される 10
vCenterサーバーコンポーネント上の [Flex CPU] パブリックアクションがハングする 11
既知の問題、制限事項、回避方法 12
HP Cloud Service Automation (HP CSA) 12
ソリューション全般 12
FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される 12
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール 12
HP CSA 4.20 へのアップグレード時に、CSA-SA-CP-04.10.0000.jarコンテンツパックが外部のHP OOサーバーに適用されない 12
4.20 へのアップグレード後に、ConfigurationToolフォルダーが%CSA_HOME%\Tools内に表示される 12
Linux上のHA環境でシングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソールが正しく起動しない 13

クラウドサービス管理コンソール 13
トポロジデザインで使用される測定可能プロパティに対して、リソース使用量のアカウンティングが正しく機能しない 13
トポロジデザインのプロビジョニングが、「楽観的ロックが失敗しました」が含まれるエラーメッセージで失敗することがある 14
クラウドサービス管理コンソール内の一部の画像が、破損リンクとして表示される 14
HP CSAで高可用性とシングルサインオンが構成されている場合に、「ページが見つかりません」エラーが発生する 14
キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスが、承認が与えられるまで [オペレーション] 領域に反映されない 15
トポロジコンポーネントに対して [名前を付けて保存] ボタンを使用すると、エラーが発生する 15
トポロジコンポーネントのブール値および整数のプロパティが、Chef属性に正しくマッピングされない 15
関係を削除しても、関係のマッピングが完全には削除されない 15
シーケンスデザイン領域で、部分トポロジデザインに対して代理トポロジコンポーネントのテンプレートを使用できる 16
代理コンポーネントがデザインのルートノードの場合に、シーケンスデザインのインポートとエクスポートが正しく動作しない 16
大きな文字列値の場合、文字が足りないように見える 16
Ubuntuでブラウザーを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する 16
サービス提供にスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する 17
クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要 17
インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない 17
マーケットプレイスポータル 17
利用可能リソースがリソースプールになかったことが原因で失敗したサブスクリプションが、リソースが利用可能になっても正しく再開しない 17
オーダー時に選択したサブスクリプションのプロファイルや値が、マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを初めて変更するときに表示されない 18
[サブスクリプションの詳細の変更] ページに表示されるプロパティが、サブスクリプションの変更中に修正できない 18
HP CSAが共通アクセスカード (CAC) モードで構成されている場合、マーケットプレイスポータルへのログインに失敗する 19
マーケットプレイスポータルの [**サーバーグループへのボリュームグループの追加**] パブリックアクションが動作する条件に制限がある 19
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースに追加されていないセキュリティグループを削除できる 19
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースにすでに追加したセキュリティグループを選択できる 19
サブスクリプションの単一選択リストプロパティが必須フィールドであっても、ユーザーはサブスクリプションを変更してそのリストプロパティの値を空にできる 20
オンラインヘルプ 20
クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプに、リソースプールはトポロジデザインに適用されないと記述されているが、これは間違っている 20
『インストールガイド』と『Upgrade Guide』 20
生成したPDFの書式の問題 20
HP CSAとの統合 20
HP ArcSight Logger 20
HP CSA `server.log`とArcSight Loggerの統合が正しく機能しない 20
HP ArcSight Loggerの構成エントリが`log4j.properties`にない 21
HP Helion OpenStack® 21
HP Helion OpenStack®デザインにルーターコンポーネントを含めるときのエラーメッセージ 21
トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®ルーターを作成できない 21
HP Operations Orchestration (HP OO) 22
HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が [保留中] と表示される 22
トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない 22
VMware vCenter 22
VCENTER_COMPUTE_MODIFY_3.20 シーケンスデザインに基づいたサブスクリプションのサブスクリプション変更が失敗する 22

本リリースでの修正

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

Linuxでプロセス定義ツールを実行すると警告が発生する

QCCR1D181776

問題

Linux でプロセス定義ツールを実行すると、プリファレンスの保存に関する警告がコンソールに出力されます。次の警告のどれかまたは類似の警告メッセージが表示されます。

`WARNING: Could not lock System prefs. Unix error code 0.` (警告: システムプリファレンスをロックできませんでした。Unix エラーコード 0)
`WARNING: Couldn't flush system prefs: java.util.prefs.BackingStoreException: /etc/.java/.systemPrefs/com create failed.` (警告: システムプリファレンスをフラッシュできませんでした: `java.util.prefs.BackingStoreException: /etc/.java/.systemPrefs/com` の作成に失敗しました)

コンテンツアーカイブツールでカタログをインポートすると、プロセスがハングする

QCCR1D187153

問題

カタログに HP Helion OpenStack®ベースのデザインが含まれている場合、コンテンツアーカイブツールでカタログをインポート中に、プロセスがハングする場合があります。インポートは成功しますが、制御はコマンドプロンプトまたはシェルに返されません。

HP CSAのパフォーマンスが時間とともに低下する

QCCR1D183686

問題

HP CSA がアイドルであっても、長い時間が経つと HP CSA が使用するヒープメモリが増加します。このために、HP CSA の全体的パフォーマンスが低下することがあります。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

インストールディレクトリに特殊文字が含まれる場合、HP CSAのインストールが完了しない

QCCR1D185692

問題

HP CSA は、%、^、*、#のいずれかの文字を含むディレクトリにはインストールできません。製品のインストールディレクトリにこれらの文字が含まれるディレクトリを指定した場合
(例、`C:\Program Files\Hewlett-Packard\CSA#4.1\`)、HP CSA のインストールは完全には行われません。

WindowsシステムでHP CSAのインストールがハングする

QCCR1D181439

問題

Windows に HP CSA をインストールする場合、ユーザーからの入力を求める際にインストールプロセスがハングすることがあります。

インストール後にHP CSAサービスを手動で開始すると、HP CSAアプリケーションが正しくデプロイされない

QCCR1D186880

問題

HP CSA のインストール中に [**Install Database Components**] 画面で [**No**] を指定すると、インストール後に HP Cloud Service Automation サービスが自動的に開始されません (これは仕様です)。ただし、HP Cloud Service Automation サービスの開始時に、CSA アプリケーションが正しくデプロイされない場合があります。

本リリースでの修正

クラウドサービス管理コンソール

トポロジデザインを発行する際にエラーメッセージが表示される

QCCR1D186539

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを発行しようとすると、「`Parameter serviceUrl cannot be null or empty`」というメッセージが表示されます。

クラウドサービス管理コンソールでデザインをインポートすると、[処理済み合計アーティファクト数] がレポートにリストされている他のすべての合計より大きくなる

QCCR1D186983

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジまたはシーケンスデザインをインポートする場合、結果を含むレポートを表示するには、[**詳細レポートの表示**] をクリックします。このレポートには、[**Total Artifacts Processed**]、[**In Error**]、[**Adde**]、[**Update**]、[**Reuse**]、[**Remove**] がリストされます。[**Total Artifacts Processed**] に表示される数は、その他すべての合計より大きくなる場合があります。アーティファクトがすでに存在している場合、そのアーティファクトはスキップされますがカウントされ、このようなアーティファクトの数をリストする [**Total Artifacts Skipped**] フィールドがないためです。

シーケンスデザインによって参照するトポロジデザインを削除できない

QCCR1D186992

問題

代理トポロジコンポーネントを使用してシーケンスデザインによりトポロジデザインを参照する場合、シーケンスデザインに対するすべてのサブスクリプションをキャンセルおよび削除するまで、トポロジデザインを削除できません。

インポートされたトポロジコンポーネントに、必須ではないとマークされた必須のコンポーネントプロパティがある

QCCR1D187021

問題

HP Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にインポートする際、そのフローに同じ名前の**入力**および**出力**プロパティが含まれている場合、HP CSA に結果的にインポートされるコンポーネントのその名前のプロパティは、間違って必須ではないとマークされます。これにより、トポロジデザイン内のコンポーネントが正しく使用されず、必須のプロパティ値が入力されない場合、プロビジョニングエラーが発生する可能性があります。

HP Operations Orchestrationコンテンツパックをインポートすると、内部サーバーエラーが発生する

QCCR1D187086

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域から HP Operations Orchestration コンテンツパックをインポートする際、同じコンテンツパックを 2 度インポートすると、次の内容のエラーダイアログが表示されます。「内部サーバーエラーが発生しました。システム管理者に連絡してください」

既存の発行済みトポロジデザインがサービスデザインのインポート中に更新される

QCCR1D187102

問題

デザインをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域でインポートする際、[**インポート**] ダイアログで [**更新**] の [**アクション**] を指定しても、通常は発行済みの HP CSA 内の既存のデザインに対する更新は許可されません。これは、サービス提供ですでに使用されている可能性がある発行済みデザインに対する変更を防止するための仕様です。ただし、HP CSA にすでに存在する発行済みのデザイン自身をインポートした場合、通常のインポートの保護機能は正しく動作せず、インポート中に [**更新**] の [**アクション**] を指定すると、既存の発行済みデザインを更新できます。

トポロジデザインのテスト実行機能がすべてのケースで動作しない

QCCR1D187129

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域で、デザインのすべてのタイプについて [**テスト実行**] 機能を正常に使用できません。特に、依存プロパティがあるデザインは、あらゆる状況でテスト不可です。

たとえば、HP Helion OpenStack®デザインは、[**ネットワーク**] プロパティを含む [**ネットワークセグメントード**] コンポーネントを使用でき、[**ネットワーク**] が選択されている場合は、[**サブネットの選択**] プロパティを使用できます。[**サブネットの選択**] プロパティの値は、[**ネットワーク**] の選択に応じて変わります。どちらかのプロパティも、デザインを正常にプロビジョニングするために指定する必要があります。ただし、[**ネットワーク**] と [**サブネットの選択**] の適切な値はサブスクライバーから取得されるもので、デザインで指定するものではありません。デザインの構成で、[**ネットワーク**] が未設定 (値は (なし)) で [**変更可能**] に設定されている場合、[**サブネットの選択**] プロパティも未設定で [**変更可能**] に設定されます。ただし、[**サブネットの選択**] プロパティは、デザインの [**エディター**] タブには表示されません。マーケットプレイスポータルでこのデザインのサブスクリプションをオーダーする場合、ユーザーは [**ネットワーク**] と [**サブネットの選択**] の両方の値を指定でき、プロビジョニングは正常に行われます。ただし、このデザインの [**テスト実行**] をクリックすると、テスト実行を行っているユーザーは [**ネットワーク**] しか指定できず、[**サブネットの選択**] の値はユーザーに提示されないため、[**テスト実行**] は失敗します。

変更可能な非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインに対するプロビジョニングが失敗する

QCCR1D187274

問題

[**変更可能**] に構成されている非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインのプロビジョニングは、失敗する場合があります。たとえば、vCenter サーバーまたは Amazon サーバーのコンポーネントを含むトポロジデザインには、非公開のパスワードプロパティが含まれています。パスワードが [**変更可能**] に構成されていて、デザインに Chef コンポーネント (Java など) も含まれている場合、[**テスト実行**] を使用するか、マーケットプレイスポータルでデザインへのサブスクリプションを作成しても、デザインは正常にプロビジョニングできません。関連付けられた Chef コンポーネントがないような単純なデザインは、パスワードプロパティが [**変更可能**] としてマークされていても成功する可能性があります。

コンポーネント関係を使用するトポロジデザインをインポートすると、失敗するか、正しく機能しないデザインが作成される

QCCR1D187332

問題

HP CSA システム上にすでに存在するコンポーネントを使用したトポロジデザインをインポートする際に、これらのコンポーネント上に存在しない関係を使用したものをインポートすると、インポート操作は失敗するか、成功したように見えても正しく機能しないデザインが作成されます。存在しない関係がエクスポート対象デザインの作成時に [**必須関係**] になるように構成されていた場合、インポートは失敗し、インポートの [**プレビュー**] レポートに、存在しない関係の詳細が表示されます。存在しない関係がエクスポート対象デザインの作成時に [**必須関係**] になるように構成されていなかった場合、インポートは成功しますが、デザインの [**エディター**] タブは機能せず、[**概要**] タブにデザインを削除するボタンだけが表示されます。

修正

このようなデザインはインポートできなくなりました。インポートを実行する前に、まず存在しない関係を [**コンポーネント**] 領域でコンポーネントに追加する必要があります。もしくは、関連付けられているコンポーネントを削除します (ほかに HP CSA システムで使用されていない場合)。これにより、デザインのインポート時にコンポーネントが再作成され、必要な関係が追加されます。存在しない関係を追加するには、次の手順を実行します。

- [**プレビュー**] 操作または実際のインポートの後に [**詳細レポートの表示**] をクリックすると、存在しない関係、または構成が間違った関係の詳細が表示されます。
    - 存在しない関係が**必須の関係**であった場合、次の形式のメッセージが表示されます。

      ```
      relation.<relation_name>_<component_id> - Missing in repository component type
      ```

    - 存在しない関係が**必須の関係**でなかった場合、次の形式のメッセージが表示されます。

      ```
      relation.<relation_name>_<component_id> - Exist different (review needed)
      ```

これらのメッセージは、必要な関係がない特定のトポロジコンポーネントのコンテキストで表示されます。デザインのインポートを成功させるには、クラウドサービス管理コンソールの [**デザイン**] / [**トポロジ**] / [**コンポーネント**] 領域に移動し、指定された `<component_id>` を持つ関連するコンポーネントを選択して、詳細レポートで指定された正確な `<relation_name>` 値を使用して必要な関係を作成します。その後、デザインを通常どおりインポートできます。

本リリースでの修正

同じIDを持つ複数のトポロジコンポーネント関係が作成される場合がある

QCCR1D187388

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域では、[**関係**] タブでコンポーネントに関する関係が作成されます。関係の作成時に、ユーザーは関係の固有 ID の入力を求められます。ただし、関係 ID が固有であることの検証は行われず、ユーザーは同じ ID を持つ複数の関係を作成できます。このような関係はすべて HP CSA データベースに格納されますが、ユーザーには同一の ID を持つ関係のうち、1 つの関係しか表示されません。このような関係を削除してコンポーネントを保存すると、同一の ID を持つ別の関係が表示されます。

発行済みのトポロジデザインに関連付けられているサービス提供のインポートで、エラーメッセージが表示される

QCCR1D187427

問題

クラウドサービス管理コンソールでは、インポートを実行中のシステムにトポロジデザインがすでに存在している場合、サービス提供および関連付けられている発行済みのトポロジデザインを含むサービス提供アーカイブをインポートできません。これは、[**インポートオプション**] が [**更新**] に設定されている場合や、システムにすでに存在しているトポロジデザインがサービス提供アーカイブ内のものと完全に一致する場合でも該当します。「**変更の保存にはトポロジをロック解除する必要があります （現在の状態は「発行済み」です）**」というテキストを含むエラーが表示されます。

トポロジコンポーネントに対して [名前を付けて保存] ボタンを使用しても、ソートコンポーネント関係が正しく複製されない

QCCR1D187355

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にあるトポロジコンポーネントの [**名前を付けて保存**] ボタンでは、ソースコンポーネント上で構成された関係が新たに作成したコンポーネントに正しく複製されません。これにより、ユーザーにとってさまざまな問題が発生する可能性があります。たとえば、コピーしたコンポーネントの関係に対する変更がソースコンポーネントに影響を与え、デザインでソースコンポーネントが使用されている場合、コピーしたコンポーネントを削除できなくなったりします。

[カタログ] または [提供] 領域にトポロジデザインのアーカイブをインポートすると、プレビューエラーが発生する

QCCR1D187205

問題

クラウドサービス管理コンソールの [カタログ] または [提供] 領域で、トポロジデザインを含むアーカイブをインポートする際、アーカイブに CSA にまだインポートされていないコンポーネントを持つトポロジデザインが含まれている場合、[**プレビュー**] をクリックすると、エラーが表示されます。「`Could not resolve component template for topology resource <topology-resource-id>`」という形式のエラーが表示されます。

これらのエラーで、インポート操作は失敗しません。コンポーネントはアーカイブ内に存在し、デザインとともにインポートされます。

[デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域からのインポートでは、このようなエラーは表示されません。

コンポーネントのインポート中に、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーメッセージが表示される

QCCR1D187158

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域でコンポーネントをインポートする際、[**ソースタイプ**] が [**ライブインスタンス**] に設定されていると、指定されたプロバイダーインスタンスに、そのプロバイダー用に構成された URL と資格情報を使用してアクセスできない場合、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーが発生する場合があります。

本リリースでの修正

HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインをカタログに発行しようとするとエラーメッセージが出て失敗する

QCCR1D186301

問題

HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインに対するサービス提供をカタログに発行しようとしたときに、カタログに環境が関連付けられていると、エラーメッセージが出て失敗することがあります。カタログがプロバイダーを含む環境に関連付けられており、デザインで使用されているトポロジコンポーネントが、カタログに関連付けられているどの環境にも存在しないプロバイダーインスタンスを必要とする場合、サービス提供を発行しようとするとエラーメッセージが出て失敗します。

デザインにコンポーネントを追加した後で高速デザインのトポロジのプロビジョニングが失敗する

QCCR1D186735

問題

クラウドサービス管理コンソールで、[**高速**] デザインオプションを [**はい**] に設定して作成したトポロジデザインにコンポーネントを追加すると、デザインが無効になります。このようなデザインへのサブスクリプションは失敗します。

トポロジデザインでコンポーネントプロパティの [変更可能] 属性が設定できないはずの場合に設定可能である

QCCR1D186541

問題

クラウドサービス管理コンソールのトポロジデザイン領域で、コンポーネントプロパティの [**変更可能**] 属性が、設定できないはずの状況で設定できることがあります (たとえば、**ネットワークセグメント**コンポーネントを持つ HP Helion OpenStack®デザインに [**ネットワーク**] および [**サブネットの選択**] プロパティがある場合)。[**ネットワーク**] プロパティの値が (なし) 以外で、[**変更可能**] に設定されている場合、[**サブネットの選択**] プロパティが表示され、その [**変更可能**] 属性は選択されてグレー表示になるはずです。これは [**ネットワーク**] プロパティの値を設定した後の動作です。しかし、[**エディター**] タブを終了してから戻った場合、あるいはデザインで別のノードを選択してからもう一度**ネットワークセグメント**を選択した場合、[**サブネットの選択**] の [**変更可能**] 属性は無効になっておらず、ユーザーが [**変更可能**] をオフにすることができます。このため、サブスクリプション時に [**ネットワーク**] の選択に基づいて [**サブネットの選択**] プロパティの値をユーザーが指定する必要がある場合、エラーが発生することがあります。

マーケットプレイスポータル

ショッピングカートに追加したアイテムの構成を変更する際に、間違った価格設定が表示される

QCCR1D187547

問題

マーケットプレイスポータルで、ショッピングカートに追加したアイテムの構成を編集する際に、間違った価格設定が表示されることがあります。正しい価格より低い場合もあれば、高い場合もあります。場合によっては、エラーがメインのカートページに伝えられず、[構成の編集] ページに間違った値が表示されていても、メインのカートページには正しい値が表示されたままになっていることがあります。カート内の 1 つの提供を編集してメインのカートページに戻っても、残りの提供の値は変更されません。

クラスター環境

HA環境にインストールされているマーケットプレイスポータルにログインできない

QCCR1D186759

問題

HA 環境で、クラウドサービス管理コンソールで構成されている組織名に非 ASCII 文字 (中国語文字など) が含まれている場合、マーケットプレイスポータルにログインできません。

本リリースでの修正

HP CSAとの統合

HP Helion OpenStack®

トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®セキュリティグループを作成できない

QCCR1D186548

問題

クラウドサービス管理コンソールで、[**高速**] デザインオプションを [**はい**] に設定し、関係 [**サーバーグループ->ネットワークセグメント**] の [**セキュリティグループ**] プロパティを [**セキュリティグループの作成**] に設定して作成したトポロジデザインを保存しようとすると、次のエラーが発生します。「**関係 "サーバーグループ->ネットワークセグメント" のプロパティ "セキュリティグループ" には値の作成があり、変更可能です。これは有効ではありません。変更可能をオフにしてください。**」

変更可能フラグをオフにするとデザインの保存は可能になりますが、それでもまだ発行できません。次のエラーが発生します。「**次のエラーのために発行が失敗しました: プロパティ "サーバーグループ - ネットワークセグメント.セキュリティグループ" は変更可能に設定する必要があります。**」

[名前を付けて保存] ボタンがHP Helion OpenStack®コンポーネントに対して動作しない

QCCR1D187354

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域では、[**名前を付けて保存**] ボタンを使用して、HP Helion OpenStack®コンポーネント (サーバーグループなど) のコピーを作成することはできません。

HP Helion OpenStack®トポロジベースのサブスクリプションが、ユーザーへのエラーメッセージなしで失敗する

QCCR1D187181

問題

リソース環境を使用して構成されたカタログに、HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成されたサービス提供が含まれている場合、これらのデザインで参照される HP Helion OpenStack®プロバイダーを、カタログに関連付けられている少なくとも 1 つのリソース環境に含める必要があります。デザインに必要なプロバイダーが少なくとも 1 つの環境に関連付けられていない場合、マーケットプレイスポータルでのこのようなデザインに対するサブスクリプション要求は失敗し、サブスクリプションは作成されず、失敗に関する情報もユーザーには報告されません。エラーは `csa.log` ファイルで報告されます。

パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] が使用できない

QCCR1D181733

問題

HP Helion OpenStack®プロバイダーインスタンスが SSL を有効にしたプロキシサーバーの背後にある場合、パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] は使用できません。

HP Helion OpenStack®ベースのトポロジデザインに正常にサブスクライブできない

QCCR1D186855

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインに**ネットワークセグメント**コンポーネントがあり、その [**ネットワーク**] プロパティが設定されておらず ((なし) に設定)、[**変更可能**] に指定されている場合、マーケットプレイスポータルでそのデザインに正常にサブスクライブすることができません。

HP Operations Orchestration (HP OO)

トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない

QCCR1D182748

問題

トポロジデザインを作成した場合、そのデザイン用の HP Operations Orchestration フローは `Library / Integrations / Hewlett-Packard / Cloud Service Automation / E2E / <product_version>`ディレクトリに作成されます。トポロジデザインを削除しても、関連するフローは HP Operations Orchestration から削除されません。

本リリースでの修正

HP Operations Orchestration Centralで、非公開のコンポーネントプロパティがクリアテキストで表示される

QCCR1D186611

問題

HP Operations Orchestration Central でトポロジデザインをプロビジョニングするフローの実行レポートを表示する際、クラウドサービス管理コンソールで [**非公開**] としてマークされた一部のコンポーネントプロパティが、HP OO Central ではクリアテキストで表示されます。

HP Helion OpenStack®でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに反映されない

QCCR1D176653

問題

すでにプロビジョニングが完了している HP Helion OpenStack®インスタンスを HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードで変更すると、変更内容はクラウドサービス管理コンソールやマーケットプレイスポータルには反映されません。たとえば、HP Helion OpenStack®のインスタンスを HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードから終了しても、マーケットプレイスポータルと、クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域で、インスタンスのステータスは [アクティブ] と表示されます。

インポートされたHP OOフローのパラメーターマッピングで、パブリックアクションの入力プロパティが有効にならない

QCCR1D187316

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域で、コンポーネントの [**オペレーション**] タブにあるコンポーネントに、パブリックアクションを追加できます。パブリックアクションは HP Operations Orchestration フローからインポートされ、その後、オペレーションに対して [**パラメーターマッピング**] を構成できます。ただし、マーケットプレイスポータルのサブスクライバーがパブリックアクションの入力プロパティを指定できるように、オペレーションの [**パラメーターマッピング**] を正しく構成することはできません。

HP Operations Orchestration Studioで、[結果] フィールドに関するエラーが報告される

QCCR1D185826

問題

クラウドサービス管理コンソールで作成されたすべてのトポロジデザインには、デザインのプロビジョニングに使用される関連する HP Operations Orchestration フローがあります。このフローは自動的に生成されます。トポロジデザインに HP CSA 付属のコンポーネント、または HP Operations Orchestration からインポートされたコンポーネントが含まれている場合、トポロジデザイン用に生成されたフローには、[**結果**] フィールドが含まれます。このフローを HP Operations Orchestration Studio で開くと、[**結果**] フィールドが存在するため、このフローに対してエラーが報告されます。

HP Operations Orchestration Studio でこれらのエラーが発生しても、フローのプロビジョニングには影響を与えません。また、HP CSA を使用するために、生成されたこれらのフローを HP Operations Orchestration Studio で開く必要もありません。

HP Operations Orchestration Centralでプロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示される

QCCR1D184932

問題

シーケンスデザインをプロビジョニングする際には、リソースプロバイダーの詳細を取得する HP Operations Orchestration フロー (「`Get Resource Provider Details`」や「`Get DMA Provider`」など) が実行されます。この実行の結果を HP Operations Orchestration Central で表示する際に、プロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示されます。

VMware vCenter

vCenterサーバーのトポロジコンポーネントのprivateKeyプロパティの値がクリアテキストで表示される

QCCR1D187237

問題

vCenter サーバーのトポロジコンポーネントの **privateKey** プロパティは、[**非公開プロパティ**] として構成されていないため、このプロパティ (クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] および [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域) の値はクリアテキストで表示されます。

本リリースでの修正

vCenterサーバーコンポーネント上の [Flex CPU] パブリックアクションがハングする

QCCR1D187146

問題

vCenter サーバーコンポーネント上のパブリックアクション [`Flex CPU`] は、`requestedCpuCount` に値 `0` を入力するとハングします。マーケットプレイスポータルのサブスクリプションには、「変更中のサービス」というステータスが表示され、クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域には、「変更中」というサービスインスタンスのステータスが表示されます。この状態では、サブスクリプションはキャンセルまたは削除できず、その後のパブリックアクションも起動できません。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される

QCCR1D163384

問題

Oracle JDBC Thin Driver (`ojdbc6.jar`) は、`java.security` ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、Oracle に SSL モードで接続できません。

原因

Oracle JDBC Thin Driver (`ojdbc6.jar`) は、`java.security` ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、SSL モードをサポートしません。詳細情報は、Oracle サポートサイト (`https://support.oracle.com/`) に記載されています。この問題に関しては当社から Sev2 サービス要求が提出されています。SR 番号は Oracle.SR 3-6995008521 です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。ソリューションは、Oracle が Oracle Thin JDBC Driver に関する Enhancement Request (ER) 16794055 を実装した時点で利用可能となります (詳細については、Oracle サポートホームページで SR 3-6995008521 をチェックしてください。サポートホームページは `https://support.oracle.com/` です)。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

HP CSA 4.20 へのアップグレード時に、CSA-SA-CP-04.10.0000.jarコンテンツパックが外部のHP OO サーバーに適用されない

QCCR1D193141

問題

HP CSA 4.20 へのアップグレード時に、`CSA-SA-CP-04.10.0000.jar` コンテンツパックが構成済みの外部の HP Operations Orchestration サーバーに自動的に適用されないことがあります。特に、コンテンツパックが HP CSA 4.10 環境の HP OO にインストールされている場合、その環境を CSA 4.20 にアップグレードするときは、アップグレード後にこのコンテンツパックを手動で再適用する必要があります。HP Server Automation コンポーネントを利用するトポロジデザインは、コンテンツパックをインストールするまで適切に機能しないことがあります。

原因

`CSA-SA-CP-04.10.0000.jar` コンテンツパックは、HP CSA 4.10 と 4.20 の間に変更されましたが、ファイル名が変更されませんでした。このファイルは、アップグレード時にインストール済みと認識されるため、再適用されません。この問題は、CSA 4.20 の新規インストールの場合や、アップグレードする前にこのコンテンツパックが HP OO に適用されたことがない場合は、発生しません。

回避方法

CSA 4.20 へのアップグレード後に、`%CSA_HOME%\Tools\ComponentTool\contentpacks\CSA-SA-CP-04.10.0000.jar` を HP OO Central の [コンテンツ管理] / [コンテンツパック] 領域に手動でデプロイします。

4.20 へのアップグレード後に、ConfigurationToolフォルダーが%CSA_HOME%\Tools内に表示される

QCCR1D192528

問題

HP CSA 4.20 へのアップグレード後に、`ConfigurationTool` フォルダーが `%CSA_HOME%\Tools` の下に残っています。このツールはサポートされなくなったため、製品のアップグレード後に存在すべきではありません。

原因

アップグレードの不具合です。

回避方法

アップグレード後に、`ConfigurationTool` ディレクトリは無視してかまいません。また、削除しても問題ありません。

既知の問題、制限事項、回避方法

Linux上のHA環境でシングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソールが正しく起動しない

QCCR1D187312

問題

シングルサインオンが有効になっている Red Hat Enterprise Linux 上の HA 環境では、クラウドサービス管理コンソールは正しく起動されず、接続しようとすると、ブラウザーにエラーが表示される場合があります。

原因

`web.xml` ファイルで、インストール時に設定されるシングルサインオン構成ファイルへのパスが不完全なことが原因です。

回避方法

注: HP CSA 4.20 以降では、ディレクトリ名 `jboss-as-7.1.1.Final` は `jboss-as` に変更されています。

1. CSA サービスを停止します。
2. `CSA_HOME/jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-cloud/deployments/csa.war/WEB-INF` の下にある `web.xml` ファイルに移動し、次のセクションにある `param-value` をこのファイルがある場所の完全パスに変更します。

たとえば、

```
    <!-- The file below is used by the HP SSO Framework for the configurations required -->
    <context-param>
      <param-name>com.hp.sw.bto.ast.security.lwsso.conf.fileLocation</param-name>
      <param-value>/jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-cloud/deployments/csa.war/WEB-
INF/hpssoConfiguration.xml</param-value>
    </context-param>
```

を次のように変更します。

```
    <!-- The file below is used by the HP SSO Framework for the configurations required -->
    <context-param>
      <param-name>com.hp.sw.bto.ast.security.lwsso.conf.fileLocation</param-name>
      <param-value>/usr/local/hp/csa//jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-
cloud/deployments/csa.war/WEB-INF/hpssoConfiguration.xml</param-value >
    </context-param>
```

3. CSA サービスを再起動します。

クラウドサービス管理コンソール

トポロジデザインで使用される測定可能プロパティに対して、リソース使用量のアカウンティングが正しく機能しない

QCCR1D193574

問題

トポロジデザインで使用される測定可能プロパティに対して、リソース使用量のアカウンティングが正しく機能しないことがあります。特に、指定プロバイダータイプのどのプロバイダーにもリソースプールが構成されていない場合、リソースアカウンティングは実行されず、そのプロバイダータイプのコンポーネントの測定可能プロパティの値を指定するトポロジデザインのプロビジョニングを継続できます。さらに、指定プロバイダータイプの一部のプロバイダーにリソースプールが含まれていても、他のプロバイダーに含まれていない場合、リソースアカウンティングが正しく実行されないことがあります。

原因

リソースプールのないプロバイダーがプロビジョニング用に選択されていると、プロビジョニング中に実行すべきリソースアカウンティングが適切に行われなくなります。

回避方法

リソースの使用量を測定可能プロパティとリソースプールで追跡する場合は、指定プロバイダータイプのすべてのプロバイダーに、リソースプールが 1 つ以上あることを確認してください (リソースプールは空でもかまいません)。リソースプールの構成が必要なのは、トポロジデザインで使用されている関連コンポーネントがあるプロバイダータイプのリソースプールのみです。たとえば、ゼロ以外の測定可能プロパティ値があるトポロジデザイン内の vCenter サーバーコンポーネントを使用する場合は、すべての VMware vCenter プロバイダーにリソースプールが構成されていることを確認します (その一部のプールは空でもかまいません)。プロビジョニング時に選択できるプロバイダーを制限するような環境では、その環境内のすべてのプロバイダーにリソースプールを追加するだけでかまいません。プロビジョニング時に使用されるプロバイダーがわからない場合は、構成済みのすべてのリソースプロバイダーに対して、空のリソースプールを作成することもできます。

既知の問題、制限事項、回避方法

トポロジデザインのプロビジョニングが、「楽観的ロックが失敗しました」が含まれるエラーメッセージで失敗することがある

QCCR1D193511

問題

トポロジデザインのプロビジョニングが、「**楽観的ロックが失敗しました**」が含まれるエラーメッセージで失敗することがあります。このような失敗が発生するのは、予約中または予約解除中のいずれかのライフサイクルフェーズです。このエラーは、プロビジョニング中に失敗したイベントを選択することで、クラウドサービス管理コンソールの [**オペレーション**] 領域に表示できます。このようなエラーが発生するのは、測定可能プロパティがトポロジデザインで使用されている場合と、クラウドサービス管理コンソールの [**プロバイダー**] 領域でリソースプロバイダーにリソースプールが構成されている場合のみです。

原因

2 つのスレッドが同じデータを変更しようとしています。

回避方法

プロビジョニングを再度行ってみます。このエラーが予約解除中フェーズで発生するときは、プロビジョニングに使用されたリソースプールのリソース使用量を手動で変更することが必要な場合があります。この処理は [**プロバイダー**] 領域で実行できます。まず、プロビジョニングに使用されたリソースプロバイダーを選択し、次に [**リソースプール**] タブでプールを選択し、最後に、関連するリソース使用量を [**リソース**] タブで編集します。

クラウドサービス管理コンソール内の一部の画像が、破損リンクとして表示される

QCCR1D193024

問題

HP CSA で SiteMinder シングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソール内の特定の画像が破損リンクとして表示されます。

原因

`applicationContext-security.xml` の `ignoreURLsContaining` ディレクティブに、列挙されていない画像パスがあります。

回避方法

`%CSA_HOME%\jboss-as\standalone\deployments\csa.war\WEB-INF\applicationContext-security.xml` を開き、"Bean definitions for SSO"というコメントを探します。`ignoreURLsContaining` リストで、次のように画像のパスを既存のリストに追加します。

```
<beans:property name="ignoreURLsContaining">
            <beans:list>
                  <beans:value>/csa/rest/</beans:value>
                  <beans:value>/csa/api/blobstore</beans:value>
                  <beans:value>/csa/sharedcsa-html-lib/images</beans:value>
                  <beans:value>/csa/shared/images</beans:value>
                  <beans:value>/csa/providers/images</beans:value>
            </beans:list>
</beans:property>
```

これでも問題が完全には解決されない場合は、管理コンソールで破損した画像リンクを右クリックし、そのパスを確認して、リンクの関連部分を上記のリストに追加します。

HP CSAで高可用性とシングルサインオンが構成されている場合に、「ページが見つかりません」エラーが発生する

QCCR1D192709

問題

HP CSA で高可用性が構成され、シングルサインオン (SSO) も構成されている場合、別のアプリケーションからログアウトして SSO Cookie が無効になった後で、クラウドサービス管理コンソール内のリンクをクリックすると、ログイン画面にリダイレクトされるのではなく、ページが見つかりませんエラーが発生します。

原因

ログアウトページからリダイレクトされる先の、この HA + SSO 環境内のホストが正しくありません。プロキシホストにリダイレクトするのではなく、スレーブホストにリダイレクトしています。

回避方法

SSO が構成されている別のアプリケーションからログアウトした後で、「ページが見つかりません」エラーが発生する場合は、プロキシホスト名を使用して、クラウドサービス管理コンソールに直接アクセスします。

既知の問題、制限事項、回避方法

キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスが、承認が与えられるまで [オペレーション] 領域に反映されない

QCCR1D192793

問題

キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスは、承認が与えられるまでクラウドサービス管理コンソールの [**オペレーション**] 領域に反映されません。その状態で [**キャンセル**] ボタンを繰り返しクリックすると、**キャンセル**しようとするたびに、承認要求が重複して不必要に作成されます。

原因

製品の制限です。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールの [**オペレーション**] 領域でサブスクリプションをキャンセルしたら、状態がすぐに変化しなくても、[**キャンセル**] を再度クリックしないでください。キャンセルの承認が必要なサブスクリプションの場合、状態が変化するのは承認が行われてからだということに注意してください。

トポロジコンポーネントに対して [名前を付けて保存] ボタンを使用すると、エラーが発生する

QCCR1D192919

問題

クラウドサービス管理コンソールの [**デザイン**] / [**トポロジ**] / [**コンポーネント**] 領域で、[**名前を付けて保存**] ボタンを使用してトポロジコンポーネントを作成するときに、同じ名前のコンポーネントがすでに存在していると、次のエラーが表示されます。

```
"Internal server error occurred.Contact your system administrator."
```

`csa.log` ファイルには、次のようなエントリが表示されます。

```
Caused by:java.sql.SQLException:Violation of UNIQUE KEY constraint
'UQ__CSA_TM_C__2F88FC4730441BD6'.Cannot insert duplicate key in object
'dbo.CSA_TM_COMPONENT_TYPE'.The duplicate key value is (AmazonServerType, com.hp.csa.type,
04.20.0000).
```

原因

[**名前を付けて保存**] ボタンを使用して、複製および作成するトポロジコンポーネントには、一意の表示名を付ける必要があります。エラーメッセージは、失敗の本当の原因は名前の重複であることを示すべきですが、そうなっていません。

回避方法

[**名前を付けて保存**] ダイアログで指定する表示名は、必ず一意の名前にします。たとえば、**Amazon Server** コンポーネントに対して [**名前を付けて保存**] を使用するときは、新しい表示名として「**Custom Amazon Server**」を使用します。

トポロジコンポーネントのブール値および整数のプロパティが、Chef属性に正しくマッピングされない

QCCR1D187711

問題

Chef からインポートされるトポロジコンポーネントには、そのデプロイオペレーションに属性パラメーターが含まれており、Chef レシピのプロビジョニングをカスタマイズできます。属性パラメーターで渡されたプロパティは、自動的に文字列に変換されます。たとえば、整数のコンポーネントプロパティ 3306 は "3306" に変換され、ブール値のコンポーネントプロパティ true は "true" に変換されます。Chef レシピが、文字列ではなく整数またはブール値の入力を想定して作成されていると、コンポーネントのプロビジョニングは失敗します。

原因

製品の制限です。

回避方法

文字列入力を受け取るように、Chef レシピを作成または変更します。

関係を削除しても、関係のマッピングが完全には削除されない

QCCR1D192575

問題

クラウドサービス管理コンソールの [**デザイン**] / [**トポロジ**] / [**コンポーネント**] 領域でコンポーネントから関係を削除しても、その関係の特定の情報は、そのコンポーネントのオペレーションパラメーターマッピング構成から完全には削除されません。そのため、関係を削除し、新しい関係を追加した後で、削除した関係を参照していたオペレーションのパラメーターマッピングを表示すると、予期しない動作が実行されることがあります。

原因
製品の不具合です。
回避方法
関係を削除するときは、その関係が使用していたパラメーターマッピングをそのコンポーネントの [**オペレーション**] タブで確認します。すでに削除された関係を使用していたパラメーターマッピングでは、パラメーターマッピングを編集するときに「**関係が定義されていません**」と表示されます。パラメーターマッピングを [**マッピングなし**] (または希望する新しい値) に明示的に設定して、削除した関係に関する古い情報をクリアします。

シーケンスデザイン領域で、部分トポロジデザインに対して代理トポロジコンポーネントのテンプレートを使用できる

QCCR1D191643
問題
クラウドサービス管理コンソールの [**デザイン**] / [**シーケンス**] / [**コンポーネント**] 領域に表示可能な代理トポロジコンポーネントのテンプレートは、トポロジデザインごとに自動的に作成され、シーケンスデザインで使用できます。このようなテンプレートは、具象トポロジデザインに対してのみ作成されるべきですが、部分トポロジデザイン (機能コンポーネントを含むトポロジデザイン) に対しても作成されます。部分トポロジデザイン用のこれらの代理トポロジテンプレートも、シーケンスデザインで選択して使用できます。このようなコンポーネントを含むシーケンスデザイン用にサービス提供を作成しようとすると、失敗します。
原因
製品の不具合です。
回避方法
関連付けられているトポロジデザインが部分デザインの場合は、代理トポロジコンポーネントのテンプレートをシーケンスデザインで使用しないでください。

代理コンポーネントがデザインのルートノードの場合に、シーケンスデザインのインポートとエクスポートが正しく動作しない

QCCR1D190606
問題
代理トポロジコンポーネントがシーケンスデザインのルートノードとして使用されている場合、デザインのインポートとエクスポートは正しく動作しません。具体的には、シーケンスデザインおよび参照先トポロジデザインをエクスポートし、クリーンシステムで参照先トポロジデザイン、シーケンスデザインの順にインポートすると、インポート時に [**更新**] オプションが指定されていない限り、シーケンスデザインのインポートは失敗します。
原因
製品の不具合です。
回避方法
代理トポロジコンポーネントをシーケンスデザインのルートノードとして使用しないようにします。サービスコンポジットコンポーネントは代理トポロジの子をサポートしているので、代わりにこのコンポーネントをルートノードとして使用します。

大きな文字列値の場合、文字が足りないように見える

QCCR1D186210
問題
Flash Player を使用するクラウドサービス管理コンソールの領域で、255 文字を超える大きな文字列値を表示すると、特定の文字が欠落しているように見えます。これが発生するのは、シーケンスデザインの [**デザイナー**] および [**サブスクライバーオプション**] タブ ([**デザイン**] / [**シーケンス**] / [**デザイナー**]) および [**リソース提供**] 領域 ([**デザイン**] / [**シーケンス**] / [**リソース提供**]) です。
原因
不明です。
回避方法
データは適切に表示されていませんが、値は正しく保存されています。テキスト入力からテキストエディターにコピーアンドペーストして、文字列値全体が適切に保持されたことを確認してください。

Ubuntuでブラウザーを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する

QCCR1D177819

問題
Ubuntu でブラウザーを開いてクラウドサービス管理コンソールを実行すると、ロケールが英語以外の場合、一部の領域で文字が正しく表示されません。
原因
Ubuntu システムの問題であり、Flash コンテンツの英語以外の文字で発生します。
回避方法
Ubuntu 以外のシステム (Windows など) でブラウザーを使用します。

サービス提供にスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する

QCCR1D176173
問題
HP CSA が OpenJRE を使用するように構成されている場合に、クラウドサービス管理コンソールでサービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとすると、特定の `.jpeg` 画像で失敗することがあります。
原因
HP Cloud Service Automation に付属する OpenJRE のバージョンの不具合であり、特定の `.jpeg` 画像ファイルでのみ発生します。
回避方法
サービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとしてエラーになる場合は、画像ファイルを `.png` などの別のサポートされる画像形式に変換し、新しい画像をサービス提供に添付してください。

クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要

QCCR1D185405
問題
クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要な場合があります。
原因
製品の不具合であり、クラウドサービス管理コンソールからログアウトせずにブラウザータブを閉じる場合に関連していると思われます。
回避方法
セッションを終了する際は、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしてください。最初のログイン試行が失敗した場合は、もう一度ログインしてください。

インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない

QCCR1D186068
問題
HP Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にインポートする際、そのフローに [**種類**] の値が [**値のリスト**] で [**ソース**] の値が [**ユーザーへのプロンプト (選択リストから)**] を持つ入力プロパティが含まれている場合、HP CSA に結果的にインポートされるコンポーネントには、この入力プロパティに対してタイプが **[文字列]** のプロパティ値が設定されます。1 つ以上の値を選択できる値リストの代わりに、[コンポーネント] と [デザイナー] の両方の領域では、単一のテキスト入力がこのプロパティのユーザーに提示されます。
原因
クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] と [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域には、このような複数選択のプロパティに対する正常なサポートがありません。
回避方法
このようなプロパティのテキスト入力では、フローが入力プロパティの解析に使用する方法で区切られた適切な区切り文字を使用して、プロパティ値をエンコードします。フローが HP Operations Orchestration で提供されるデフォルトの「**Selection List Iterate**」オペレーションを使用している場合、区切り文字 (セパレーター) は構成可能であり、デフォルトは '|' になります。たとえば、'red'、'green'、'blue' という複数の値は、デフォルトのセパレーター値で「**Selection List Iterate**」オペレーションを使用する場合、'red|green|blue' (引用符なし) のように指定します。

マーケットプレイスポータル

利用可能リソースがリソースプールになかったことが原因で失敗したサブスクリプションが、リソースが利用可能になっても正しく再開しない

QCCR1D193354

問題
クラウドサービス管理コンソールの [**組織**] 領域で、組織に対して [**サブスクリプションを一時停止にする**] が構成されている場合、リソースプール内に利用可能なリソースがないために失敗したサブスクリプション要求は、必要なリソースがリソースプール内に回復した後でも正しく再開できません。サブスクリプションはマーケットプレイスポータルで [**保留中**] のままになり、管理コンソールの [**オペレーション**] 領域でどのような再開操作を行ってもさらにエラーが発生し、プロビジョニングは一時停止されます。この問題は特に、サブスクリプションが基づくシーケンスデザインが、測定可能プロパティを使用し、リソースプールを必要とする場合に発生します。
原因
Build Resource Provider and Pool List アクションは、初めて実行されたときに、サブスクリプション要求を実行するのに必要なリソースがプロバイダーやプールにないことを検出すると、有効なプロバイダーとプールの空のリストを作成します。その場合、必要なプロバイダーとプールが見つからないため、**Select Resource Provider and Pool** オペレーションは失敗します (これは適切な動作です)。必要なリソースがリソースプール内に回復し、プロビジョニングが再開されても、**Build Resource Provider and Pool List** アクションは再実行されないために、利用可能になったリソースが検出されず、**Select Resource Provider and Pool** オペレーションは再度失敗します。
回避方法
サブスクリプション要求をキャンセルし、サービス提供を再オーダーします。

オーダー時に選択したサブスクリプションのプロファイルや値が、マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを初めて変更するときに表示されない

QCCR1D193034
問題
トポロジデザインに基づいたサブスクリプションをマーケットプレイスポータルで変更する場合、サブスクリプションの初期オーダー時に選択したプロファイルや値が [**サブスクリプションの詳細の変更**] ページに表示されません。その後の変更操作では、前に選択したプロファイルと値が [**サブスクリプションの詳細の変更**] ページに表示されます。
原因
製品の制限です。
回避方法
サブスクリプションを変更するときに、適切なプロファイルと値を指定します。必要であれば、[**サブスクリプションの詳細**] ページで [**リンクされたサービスの表示**] をクリックして、デプロイされたコンポーネントの現在のプロパティ値を確認し、変更操作で値を選択する際の参考にすることができます。

[サブスクリプションの詳細の変更] ページに表示されるプロパティが、サブスクリプションの変更中に修正できない

QCCR1D192688
問題
サブスクリプションをマーケットプレイスポータルで変更するときに、そのサブスクリプションが、代理トポロジコンポーネントを含むシーケンスデザインに基づいていると、変更可能として提示されるプロパティ値が、実際には変更できないことがあります。具体的には、関連付けられたトポロジデザインのプロパティが [**サービスの作成中に変更可能**] に設定されていると、そのプロパティの [**サービスの変更中に変更可能**] が選択されていない場合や、プロパティが変更をサポートしていないために [**サービスの変更中に変更可能**] オプションが表示されない場合でも、マーケットプレイスポータルでプロパティが変更可能になります。

たとえば、vCenter サーバーコンポーネントを含むトポロジデザインについて考えてみます。この `vmNamePrefix` プロパティは、[**サービスの作成中に変更可能**] に設定することは可能ですが、[**サービスの変更中に変更可能**] に設定することはできません。[**サービスの作成中に変更可能**] が選択され、関連する代理トポロジコンポーネントをこのトポロジデザインで使用するシーケンスデザイン (および関連するサービス提供) が作成されると、`vmNamePrefix` プロパティが、サブスクリプションの初期オーダー時に変更可能 (正常な動作) になるだけでなく、サブスクリプションの変更時にも変更可能 (間違った動作) になります。

このようなプロパティは、マーケットプレイスポータルでのサブスクリプションの変更中に変更可能なプロパティとして表示されますが、サブスクリプションの変更中に、そのプロパティにどのような値を入力しても無視されます。
原因
製品の制限です。
回避方法
このようなプロパティ値は、サブスクリプションの変更中に変更しないでください。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP CSAが共通アクセスカード (CAC) モードで構成されている場合、マーケットプレイスポータルへのログインに失敗する

QCCR1D192264

問題

HP CSA が共通アクセスカード (CAC) モードで構成されている場合、事前定義済みのコンシューマー組織がシードされたコンシューマーユーザーアカウントを使用していると、マーケットプレイスポータルへのログインが特定の状況で失敗します。具体的には、マーケットプレイスポータルにログインするときにユーザーのブラウザーから有効な証明書を選択する場合、a) そのユーザーが、コンシューマー組織に対して構成されている LDAP ディレクトリ内に存在しないか、または、b) LDAP がコンシューマー組織に対して構成されていなければ、ログイン画面にリダイレクトされた後で、コンシューマーユーザーとしてマーケットプレイスポータルにログインできません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

事前定義されたコンシューマー組織のマーケットプレイスポータルにログインするときに、証明書を選択するプロンプトがブラウザーに表示された場合、シードされたコンシューマーユーザーとしてログインしたいのであれば、証明書の選択をキャンセルしてください。これにより、シードされたコンシューマーユーザーのアカウントを使用してログインできるようになります。

マーケットプレイスポータルの [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションが動作する条件に制限がある

QCCR1D177615

問題

HP Helion OpenStack®のトポロジデザインからサービスを作成した場合、マーケットプレイスポータルでこのサービスに表示される [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションは、非常に限られた条件でしか動作しません。

原因

サーバーグループ内のサーバー数は、このアクションの呼び出し時に追加されるボリュームの数と一致しなければなりません。ただし、[**ボリューム ID**] ドロップダウンではボリュームを複数選択できません。したがって、このアクションが成功するのは、サーバーグループ内のサーバーが 1 つのみの場合に限られてしまいます。さらに、HP Helion OpenStack®でボリュームを作成し、サーバーグループに関連付けない状態にしておく必要があります。このアクションの実行時には、このような状態のボリュームしか選択できないためです。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースに追加されていないセキュリティグループを削除できる

QCCR1D177360

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの削除] アクションにより、VM ネットワークインタフェースにまだ割り当てられていないセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、VM ネットワークにすでに割り当てられているセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Helion OpenStack®から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースにすでに追加したセキュリティグループを選択できる

QCCR1D177361

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの追加] アクションにより、VM ネットワークインタフェースにすでに追加されているセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、割り当てられていないセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Helion OpenStack®から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

既知の問題、制限事項、回避方法

サブスクリプションの単一選択リストプロパティが必須フィールドであっても、ユーザーはサブスクリプションを変更してそのリストプロパティの値を空にできる

QCCR1D181903

問題

マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを変更する場合、ユーザーは必須フィールドに空の値を指定できます(フィールドが単一選択リストプロパティの場合)。

原因

マーケットプレイスポータルは、単一選択リストプロパティの値が空であることを検出しません。

回避方法

変更要求を送信する前に、必須フィールドに単一選択リストの有効な値が入っていることを確認します。

オンラインヘルプ

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプに、リソースプールはトポロジデザインに適用されないと記述されているが、これは間違っている

QCCR1D192619

問題

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、「リソースプールは、シーケンスデザインでのリソース割り当てに使用できます。トポロジデザインには使用できません。」と記述されていますが、この記述は間違っています。HP CSA 4.20 では、リソースプールをトポロジデザインに適用可能です。

原因

ドキュメントの不具合です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』

生成したPDFの書式の問題

問題

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』の PDF を生成すると、次のような問題が発生します。

- 改ページで表の行が分割される場合、行の最初の列が、次の行の最初の列と結合されます。
- 例のテキストが右マージンで切り捨てられます。
- テキストが行末で文字化けします。
- ドキュメント内にある他のセクションへのリンクが破損しています。
- コンテンツに埋め込まれたアイコンが表示されないことがあります。

回避方法

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』の内容は、印刷ではなく Web ブラウザーで表示してください。

HP CSAとの統合

HP ArcSight Logger

HP CSA `server.log`とArcSight Loggerの統合が正しく機能しない

QCCR1D156585

問題

`%CSA_HOME%\jboss-as\standalone\log\server.log` と ArcSight バージョン 5.2/5.3/6.0 の統合はサポートされていません。

原因

JBoss 7.1.3 と ArcSight 5.2/5.3/6.0 を統合するには別のハンドラーが必要ですが、現時点では ArcSight でサポートされていません。

回避方法
現在のところ、問題を回避する方法はありません。このハンドラーに関しては機能拡張要求が ArcSight チームに提出されているので、製品リリース後に提供される可能性があります。機能拡張要求のステータスについては、HP サポート担当者にお問い合わせください。

HP ArcSight Loggerの構成エントリが`log4j.properties`にない

QCCR1D156785
問題
HP ArcSight Logger で HP CSA を構成してからアップグレードすると、アップグレード後、ArcSight Logger との統合が正しく機能しなくなります。
原因
アップグレード時、`log4j.properties` ファイルが正しく更新されません。
回避方法
アップグレード後、次のファイルを開きます。
`%CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\standalone\deployments\csa.war\WEB-INF\classes\log4j.properties`
次に示すように、ファイルの最後にある行を次のようにコメントアウトします。

```
#log4j.appender.cef1=com.hp.esp.arcsight.cef.appender.Log4jAppender
#log4j.appender.cef1.deviceVendor=HP
#log4j.appender.cef1.deviceProduct=CSA
#log4j.appender.cef1.deviceVersion=3.1
#log4j.appender.cef1.transportType=SYSLOG
#log4j.appender.cef1.hostName=192.x.x.x
#log4j.appender.cef1.port=515
#log4j.appender.cef1.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
#log4j.appender.cef1.layout.ConversionPattern=%d{DATE} [%t] %-5p %x %C{1} : %m%n
#log4j.appender.cef1.appender.threshold=off
```

注: HP CSA 4.20 以降では、ディレクトリ名 `jboss-as-7.1.1.Final` は `jboss-as` に変更されています。

HP Helion OpenStack®

HP Helion OpenStack®デザインにルーターコンポーネントを含めるときのエラーメッセージ

QCCR1D192489
問題
HP Helion OpenStack®トポロジデザインにルーターコンポーネントを含めるときに、[**ルーター**] プロパティ値が [**新規ルーターの作成**] に設定され、そのプロパティの [**サービスの作成中に変更可能**] がオンになっていると、保存時にわかりにくいエラーメッセージが表示されます。表示されるエラーメッセージは「**新規ルーターの作成は、高速デザインでは許可されていません。**」ですが、これはデザインが高速デザインとして作成されなかった場合に表示されるメッセージです。
原因
製品の不具合です。
回避方法
ルーターコンポーネントでは、[**ルーター**] 値を [**新規ルーターの作成**] にして、さらに変更可能にすることはできません。[**サービスの作成中に変更可能**] の選択を解除するか、[**ルーター**] プロパティで [**新規ルーターの作成**] 以外の値を選択すると、デザインを保存できます。

トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®ルーターを作成できない

QCCR1D186549
問題
クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを作成する際に、[**高速**] デザインオプションを [**はい**] に設定し、ルーターコンポーネントの [**ルーター**] プロパティを [**新規ルーターの作成**] に設定し、[**サービスの作成中に変更可能**] プロパティを選択すると、そのトポロジデザインを保存しようとしたときに次のエラーが発生します。「**新規ルーターの作成は、高速デザインでは許可されていません。リソース "ルーター" に対して既存のルーターを選択してください。**」

[**サービスの作成中に変更可能**] の選択を解除すると、デザインを保存できるようになりますが、発行することはまだできません。次のエラーが発生します。「**次のエラーのために発行が失敗しました: プロパティ "ルーター.ルーター" は変更可能に設定する必要があります。**」

原因
高速デザイン機能を使用して新規 HP Helion OpenStack®ルーターを作成することはできません。
回避方法
HP Helion OpenStack®トポロジデザインの一部として新規ルーターを作成する必要がある場合は、[**高速**] デザインオプションを [**いいえ**] に設定してデザインを作成してください。なお、[**高速**] デザインオプションは多くの HP CSA インストールで無効にされています。トポロジデザインの作成の際にこのオプションが表示されない場合は、デザインは**高速**デザインではないので、この問題は発生しません。

HP Operations Orchestration (HP OO)

HP Cloud Service (HP CS) - OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が [保留中] と表示される

QCCR1D155141
問題
HP Cloud Service (HP CS) - OPENSTACK サービスのサブスクリプションが失敗すると、マーケットプレイスポータルではサブスクリプションのステータスが、[**デプロイ中**] の状態で [**保留中**] と表示されます。
原因
サブスクリプションのオーダー時に無効な組み合わせの入力が選択されています。HP Operations Orchestration (HP OO) - OPENSTACK の統合フローは、サブスクリプションのオーダー時に選択される入力の組み合わせが無効であってもエラーを返さず、実行時例外を発行することによってフローを終了します。このプロセスのステータスは HP CSA では更新されず、[**デプロイ中**] のままになり、サブスクリプションのステータスは [**保留中**] になります。
回避方法
現在のところ、問題を回避する方法はありません。この HP OO - HP CS の統合に関する不具合は、ID QCCR1D155146 で報告されています。

トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない

QCCR1D182748
問題
トポロジデザインを作成した場合、そのデザイン用の HP Operations Orchestration フローは `Library / Integrations / Hewlett-Packard / Cloud Service Automation / E2E / <product_version>`ディレクトリに作成されます。トポロジデザインを削除しても、関連するフローは HP Operations Orchestration から削除されません。
原因
製品の制限です。
回避方法
関連するフローは無視してもかまいませんが、手動で削除することもできます。フロー名には識別のためにデザイン名とバージョンが含まれています。

VMware vCenter

VCENTER_COMPUTE_MODIFY_3.20 シーケンスデザインに基づいたサブスクリプションのサブスクリプション変更が失敗する

QCCR1D192865
問題
`VCENTER_COMPUTE_MODIFY_3.20` シーケンスデザインに基づくサブスクリプションのサブスクリプション変更が失敗する場合、その後、マーケットプレイスポータルで [**前回の変更の再送信**] ボタンによって開始された変更が成功することもありますが、最初に失敗したサブスクリプション変更時の選択内容は考慮されません。
原因
変更の失敗について、このデザインおよび関連付けられた HP Operations Orchestration フローによる処理に不具合があります。
回避方法
サブスクリプション変更の失敗の原因を修正した後に、複数のサブスクリプション変更要求を開始する必要があります。まず、[**前回の変更の再送信**] を実行して、変更を正しく行う必要があります。それが正常に完了したら、[**サブスクリプションの変更**] を実行して、必要な新しい値を選択します。

ご注意

©Copyright 2011-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®および Windows®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

OpenStack® Word Mark および Square O Design は、単独でも両方でも、OpenStack Foundation の米国およびその他の国における登録商標であり、OpenStack Foundation の許可を得て使用されています。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

RED HAT READY™ロゴと RED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Inc の商標です。